

# オヒルギ

か めい  
科名 ヒルギ

べつ めい  
別名 アカバナヒルギ

がくめい  
学名 *Bruguiera gymnorrhiza*



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶん  
分 布 かごしま (あまみ おおしまいなんせいいくほくげん) おきなわ  
鹿兒島 (奄美大島以南生育北限)、沖縄、  
たいわんとう 台湾等

は かたち  
葉 の 形 ちょうだえんけい  
長楕円形

は ふち  
葉 の 縁 ぜんえん  
全縁

は さき  
葉 の 先 えいけい  
鋭形

は しゅるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい  
葉 の 付方 対生

は きふ くさびがた  
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい たいせいしゅし  
実 の 種類 胎生種子

はな がくいろ あかいろ  
花 ・ 萼 色 赤色

せつ せい  
説 明 マングローブ林の上流部に生育し、西表島のマングローブの中では一番大きな集団  
(群落)を作っています。花(萼)の色は赤色です。地中から水面上に伸びた呼吸根は人間  
の膝を曲げたような形をしているため膝根と呼ばれています。実は胎生発芽(胎生種子)  
し、長さ約20 cm、径約2 cm位の鉛筆のような形をしています。